



■ 年頭によせて



謹んで平成 29 年の新春をお祝い申し上げます。年頭にあたり、旧年中のご厚情を感謝いたしますとともに、会員の皆様のご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。

昨年 11 月 2 日付の京都新聞朝刊にも大きく掲載されました都草創立 10 周年記念式典・祝賀会開催記事は、都草の存在意義を改めて鮮明にするものでした。そして、今後の都草の活動の方向性を考えるに際しましても、大いに勇気付けられるものとなりました。

これまでその歴史を丁寧に積み重ねてきた従来の都草の活動に、10 周年記念事業の「京のこと語り隊」や「都草わくわく倶楽部」も加わり、ますます都草の活動は多種多様になってまいりました。

また昨年 10 月から初めて京都府庁の主宰する「旧議場土曜講座」において、「京の四方山ばなし」を都草が講師として協力しています。毎回定員を遥かに超える方々が足を運ばれ、それは熱心に耳を傾けておられます。席の確保が大変ですが、嬉しい悲鳴とはまさにこの事です。そして他の活動でも同様、単に「京都好き」だけで終わらない、自らの「社会化」を真摯に実践する都草会員の姿を目の当たりにし、その素晴らしさに深い感動を覚えます。同時にこのような「場」を創ることのやり甲斐と大切さを強く感じているところです。

今年の干支は丁酉、様々なご縁をとり込んで更に羽ばたく 1 年になればと思います。本年もご指導の程よろしく願いいたします。(理事長 小松 香織)

■ 新年会報告



1 月 23 日正午から、三井ガーデンホテル京都四条において、平成 29 年「都草新年会」が催されました。朝から大雪警報が発令されるという空模様でしたが、幸い時折雪が舞い散る程度の日和となり、和やかで楽しいひと時を過ごすことができました。

11 時半の受付開始から続々と参集される会員のみなさんの顔は一様に晴れがましく、開始前から新年会にふさわしい雰囲気漂います。岸本理事の司会のもと、まずは小松理事長の、前日の大相撲の優勝力士、稀勢の里と同郷であるとの自己紹介から、ついで坂本特別顧問による吉永小百合と同じ年であるとのお話におよんで、早くも会場は笑い声に包まれました。その後は林監事の音頭による乾杯。美化活動部会のみなさんによる「伏見三十石船頭船歌」のよく通る節回しや合間に交わされる軽妙な掛け合いに聞き惚れ、中江理事の仏像や三重塔に関わるクイズに頭をひねりました。文化交流部会のみなさんによるクイズ、福井監事のオペラにまつわる洒落なダジャレと芦田理事の京都路地裏のウンチクで大いに湧いた後、吉岡 央会員による電子オルガンの伴奏で、唱歌「故郷」を全員で合唱しました。最後は高橋副理事長による閉会挨拶と熊谷副理事長による一本締めで解散となりました。

底冷えのする一日でしたが、都草にとって一足早く春を感じさせる、新しい年にふさわしい出だしとなりました。(会員 植山 政雄)



◆◇ 二条城ガイドツアー（秋の特別企画「豊臣×徳川」） ◇◆



昨年 10 月、世界遺産である二条城と醍醐寺が連携した特別企画「豊臣×徳川 一歴史の舞台をいま巡る」において、二条城事務局からガイドツアーのご依頼を頂きました。

普段は立ち入ることのできない行幸御殿跡に立ち、後水尾天皇がご覧になられたであろう二の丸庭園の眺望を時空を超えて楽しんで頂きました。さらにこの特別企画の目玉である二の丸御殿四の間内の写真撮影では、迫力ある「松鷹図」をバックに誰もが興奮を抑えきれない様子が印象的でした。

全 37 日間、二条城スタッフや警備員の方も進んでお手伝い下さり、無事成功裏に終わりました。大政奉還 150 周年を迎える今年、二条城は益々注目を集めることになりそうです。（専務理事 田村 光弘）

◆◇ 第 6 回 研修バス旅行（浜松市 龍潭寺・方広寺 11 月 28 日）に参加して ◇◆



平成 29 年の NHK 大河ドラマが浜松市舞台の「おんな城主 直虎」に決まり、浜松市は市を挙げて PR に余念がありません。その直虎及び井伊家の菩提寺である龍潭寺、そして臨済宗方広寺派大本山 奥山方広寺の拝観が今年の都草バス研修と知りました。浜松市在住ゆえなかなか都草の行事には参加できませんが、現地参加として皆様と一緒させていただきました。今回何かお役に立てればと、浜松市市役所観光課、奥浜名湖観光協会に問い合わせをして直虎の生涯を記した市発行の PR ブックを皆様に配布することが出来ました。

龍潭寺は国指定名勝の池泉観賞式庭園が拝観の目玉になります。奥山方広寺は浜松市民にとっては拝観するお寺というより修行研修の場と知られ、多くの市民が学生時代に座禅研修を受けています。拝観では、中江理事より舍利殿からみた絶景の大本堂と瓦の説明がありました。



地方在住のためなかなか都草の行事に参加できませんが、これからもできる限り参加したいと思います。

（会員 横井 剛）

◆◇ 新春子供お茶会 ～百人一首であそぼ～（1 月 5 日開催） ◇◆

「西陣の町家・古武邸」において小学生約 60 名と新春のひと時を楽しく過ごしました。このイベントは、お茶会や百人一首の体験を通じて日本の伝統文化に触れる事を目的として行われ、昨年につき 2 回目の開催で都草からは 8 名が手伝いました。子供たちは最初に百人一首について和歌の説明やかるたののコツを教わり本番にのぞみました。朗詠の響きも心地よく回を重ねるごとに子供たちの熱気を感じとることができました。その後は別室でのお茶会。お菓子とお抹茶のいただき方の説明を聞いた後、慣れない正座とお辞儀にとまどいながらもうれしうでした。床の間の飾り、庭の木にかけられた凧が風に揺れ、お正月らしさが目を楽しませてくれました。

（会員 寺村 いく子）

